



院長
伊藤 真理子
プロフィール

●(いとう・まりこ)1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

真理子先生の
女性のピルカク

LEP製剤って?①

前回の月経困難症についてのお話の中で、治療用の薬「LEP製剤」のことも簡単にご紹介しましたね。今回からはLEP製剤について、もう少し詳しくお話ししていきます。

低容量ピルとはほぼ同じ

LEP製剤をご存知ない方でも、低容量ピルは大半の方がご存知のはず。結論から言えば、LEP製剤と低容量ピルはほとんど同じものです。

避妊薬の低容量ピル

そもそも低容量ピルは世界に遅れること30年、

1999年に経口避妊薬として日本で解禁され、それと同時に、低容量ピルが月経困難症や過多月経による貧血の軽減などに効果があることも瞬く間に世の女性に知られるようになりました。

LEP製剤は治療薬

これらの症状に悩む女性にとっても低容量ピルは救世主になったわけですが、現在に至るまで低容量ピルは避妊薬としての位置づけは変わらず、公的医療保険が認められない自費診療の対象のまなものです。

低容量ピルの成分はエストロゲン(卵胞ホルモン)

ン)とプロゲステロン(黄体ホルモン)。ほぼ同じ成分ながら2008年に「子宮内膜症」の治療薬として、10年には「月経困難症」の治療薬として承認されたのがLEP製剤です。

次号からさらに詳しく

つまり、ほぼ同じ成分ながら避妊を目的とするのが低容量ピル、子宮内膜症や月経困難症の治療薬がLEP製剤と位置づけられたのです。その結果、低容量ピルが自費診療の対象なのに対し、LEP製剤は公的医療保険が適用されます。

そのLEP製剤です

<産婦人科>
真理子レディースクリニック
☎023-632-0666 山形市小姓町6-35

●診療時間
【平日】午前/8時30分~12時
午後/14時~17時
【木曜】午前/8時30分~11時
【土曜】午前/8時~11時

●休診日
日・祝祭日
木・土曜日は午後休診となります。

LEP製剤

が、具体的にどんな症状に効果があるのか、心配な副作用はどうかについて次回からお話ししていきます。